



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

10月号

令和3年9月30日  
横浜市立さちが丘小学校  
校長 高浜 正太郎  
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 新たな試み

校長 高浜 正太郎

先日、旭区と緑区の区境にある三保市民の森を歩いていた時のことです。夕刻でしたが、ヒグラシやツクツクボウシなどセミの鳴き声と、コオロギやウマオイなど秋の昆虫の鳴き声が、それぞれ左右の耳に入ってくる何とも不思議な体験をしました。その日の気温が9月下旬にしては高かったからだと思いますが、夏が過ぎるのを惜しみ、秋はもう来ているという季節の移り変わりを自然の中で体感しました。

さて、今月は分散登校での学校生活が続きました。本来ならばクラスの友だち全員が集って学習したり遊んだりしたい気持ちで一杯なのでしょうが、さち小の子どもたちはクラス半分の人数ということの前向きにとらえて学校生活を笑顔で過ごしていました。

教室での学習では、担任や専科の教員にわからないことは質問して、教えてもらいやすい人数であることや、体育や休み時間には通常よりも広い空間の中で十分に体を動かせることを実感しながら楽しく活動できている様子からそのことが伝わってきます。

そのような学校生活の中、新型コロナウイルス感染防止対策として、子どもたちへの指導を日々徹底するだけではなく、各教室や施設の共用部分（廊下、階段、昇降口、流し場、トイレ）については、全教職員が力を合わせて消毒作業を行っています。第5波のピーク時と比較すると感染者数は大幅に減少傾向にありますが、まだまだ気を緩めることなく様々な状況を想定して、教育活動を進めていくように努めてまいります。

10月に入ると、本校の運動会「さちフェス」に向けた取組や練習がスタートします。昨年度に引き続き、午前中開催に併せまして、低・中・高学年別に時間をスライドさせて実施いたします。参観については各家庭2名まで(未就学児は除く)として、実施学年ごとに参観者の皆様にも入れ替わっていただくことにしました。詳細につきましては別紙にてお知らせいたしますが、安全・安心な「さちフェス」となるよう配慮しての開催となりますので、何卒ご理解、ご協力くださるようよろしくお願いいたします。

また、6年生にとっては最後の「さちフェス」となります。最高学年として運動会の運営に主体的にかかわっていききたいという子どもたちの思いも強くあることから、6年生児童は全員が役割を担い、準備から当日の運営まで行っていくこととなりました。よって、高学年の部以外の低・中学年の部においても係ごとの活動で活躍することになります。保護者の皆様におかれましては、個人競技や演技だけではなく、それぞれの係の役割を果たしている6年生の子どもたちの様子も、ぜひご覧ください。

2年続けてのコロナ禍での運藤会開催となりますが、規模を縮小するということでは決してありません。感染症防止対策を講じた上で、創意工夫しながらできることにしっかりと磨きをかけることで完成度を上げることにより、子どもたちの記憶にいつまでも残る「さちフェス」にしたいと考えています。

ご家庭におかれましても、毎朝の検温や健康観察を引き続きよろしくお願いいたします。